

# 星城懇話会

第 27 号

2017.1 発行

発行：星城懇話会事務局〒476-8588 東海市富貴ノ台 2-172 TEL 052-689-6002/FAX 052-689-6003

## CONTENTS

>>教育講演会

>>会員交流会

>>馬淵智子氏 講演

## 平成 28 年度 教育講演会 「愛知が生んだ三英傑の教育」井沢元彦氏

11月6日(日)、ミッドランドホールにおいて、「愛知が生んだ三英傑の教育」と題して、作家 井沢元彦氏の教育講演会を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、多くの方にご参加いただきました。

最初に浦野会長より「三英傑が生まれたこの地区から、グローバルな社会にはばたいていける若者をすばらしい教育のもとで発掘できたら幸い」とのお話があり、続いて、石田名誉会長からの「教育には知育・徳育・体育に加え、『美育』が大切で、そのために文化の香りのする地域貢献の一つとしてこのような教育講演会を開催しております」との挨拶の後、講演会が始まりました。

『逆説の日本史』等の著者で有名な井沢元彦氏の講演は、学校で習った歴史とは異なる見方から切り出された、歴史好きの人にとってはたまらない魅力を持ったスケールの大きな講演で、出席者全員が話に魅了されました。ご多忙な中、たくさんの方に足を運んでいただき誠にありがとうございました。



【浦野会長】



【石田名誉会長】



【講演会の様子】



教 育 講 演 会

## 「愛知が生んだ三英傑の教育」

——混乱している時代で、三英傑は自らの政策のなかで自分の思想・信条、日本の将来の方向性を示した——

～三英傑とは～

戦国時代の武将、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康のことです。いずれも愛知県（当時の尾張国、三河国）出身で、戦国の乱世において、天下統一へと日本を導いていきました。



最初に織田信長が行った政策について、最近の日本のニュースを取り上げて講演は始まりました。

「（織田信長の行った比叡山焼き討ちについて）現代の日本と同じように考えてはいけない。（しかし、）現代と同じ常識でものを見てしまう。（彼は）そうせざるを得なかった、ということを知らないと、人は間違った判断を下してしまう」「歴史の事実を現代の常識で考えてしまうことが間違いであり、現代の常識が昔の常識から変わったことを知ることが歴史である」と話されました。昔と現代は生き方も社会も違うということを考えず、今現在の自分の知識だけで判断することが、いかに危険なことなのかを実感しました。

徳川家康の教育政策の話では、ペリーの話から始まりました。ペリーと家康と一緒に考えることは思いもつきません。これぞ井沢元彦氏の歴史の見方、という感じがしました。会場の皆様も、きょんとした顔をしていましたが、病気の診察も現在の病状だけでなく、これまでの病歴を聞くことも大切だという例えがとてもわかりやすく、会場にも「なるほど～」という空気が流れ、続けて「歴史は全体をみないとわからない」と話されました。ペリーと家康の関係を聞き、その言葉が身に染みしました。



【 前 井沢元彦氏 浦野会長 石田名誉会長  
後 石田事務長 】

「信長・秀吉、家康というものは、かくも大きな影響を現代まで及ぼしている。・・・日本人の多くは、知識人でもそれを誤解している。歴史教育の現状を少しずつ私は改めていきたい。」という言葉で締めくくられました。現代の日本に大きな影響を及ぼした三英傑の出身地である愛知県に誇りを持ち、それぞれの政策の真実を知ることが今後、未来の発展につながるのかもしれませんが。歴史を学ぶ重要性、教育の大切さを強く感じることでできた講演でした。

## 平成 28 年度 会員交流会

12月1日（木）、名古屋観光ホテルにおいて、「平成28年度星城懇話会 会員交流会」を開催いたしました。

開会にあたって、浦野会長、石田名誉会長からそれぞれ挨拶があり、この一年の皆様方からのご支援に対する感謝の気持ちを述べられました。

そして、今年のイベントである「シンガーソングライター えみ」とバンドのメンバーが登場。えみさんのすばらしい歌声が会場全体に響き渡りました。

今年は、ボブ・ディランがノーベル文学賞を受賞したことから、えみさんにはボブ・ディランの代表曲「風に吹かれて」と「ミスター・タンブリン・マン」を特別にリクエスト。会場全体が大いに盛り上がりました。そんな心地よい雰囲気にもまれて、谷口理事による乾杯で、会員交流がスタートいたしました。



会員交流の時間では、名刺交換、異業種交流が盛んに行われ、おいしい料理とともに、皆さまの笑顔が飛び交っておりました。

その後、「企業PR」の時間となり、新規に法人会員になられた「清水建設株式会社」様、「株式会社フューチャーイン」様のPRから始まりました。そして、「近畿日本ツーリスト株式会社」様が登壇、負けじと「株式会社JTB 中部」様もPR。その後「NPO 法人えんとかく」様、「株式会社名鉄グランドホテル」様、「本田博信東海市議会議員」様、「株式会社ヤクルト東海」様が登壇され、今年も大盛況でした。



最後は、動画を活用した井上監事の発声にて、参加者一同「名古屋ナモ締め」で締めくくりました。約120名の会員様にご参加いただき、今年も大変好評な会となりました。お忙しい中、多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。



教 育 講 演 会

## 「愛知が生んだ三英傑の教育」

——混乱している時代で、三英傑は自らの政策のなかで自分の思想・信条、日本の将来の方向性を示した——

～三英傑とは～

戦国時代の武将、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康のことです。いずれも愛知県（当時の尾張国、三河国）出身で、戦国の乱世において、天下統一へと日本を導いていきました。



最初に織田信長が行った政策について、最近の日本のニュースを取り上げて講演は始まりました。

「（織田信長の行った比叡山焼き討ちについて）現代の日本と同じように考えてはいけない。（しかし、）現代と同じ常識でものを見てしまう。（彼は）そうせざるを得なかった、ということを知らないと、人は間違った判断を下してしまう」「歴史の事実を現代の常識で考えてしまうことが間違いであり、現代の常識が昔の常識から変わったことを知ることが歴史である」と話されました。昔と現代は生き方も社会も違うということを考えず、今現在の自分の知識だけで判断することが、いかに危険なことなのかを実感しました。

徳川家康の教育政策の話では、ペリーの話から始まりました。ペリーと家康と一緒に考えることは思いもつきません。これぞ井沢元彦氏の歴史の見方、という感じがしました。会場の皆様も、きょんとした顔をしていましたが、病気の診察も現在の病状だけでなく、これまでの病歴を聞くことも大切だという例えがとてもわかりやすく、会場にも「なるほど～」という空気が流れ、続けて「歴史は全体をみないとわからない」と話されました。ペリーと家康の関係を聞き、その言葉が身に染みました。



【 前 井沢元彦氏 浦野会長 石田名誉会長  
後 石田事務長 】

「信長・秀吉、家康というものは、かくも大きな影響を現代まで及ぼしている。・・・日本人の多くは、知識人でもそれを誤解している。歴史教育の現状を少しずつ私は改めていきたい。」という言葉で締めくくられました。現代の日本に大きな影響を及ぼした三英傑の出身地である愛知県に誇りを持ち、それぞれの政策の真実を知ることが今後、未来の発展につながるのかもしれませんが。歴史を学ぶ重要性、教育の大切さを強く感じることでできた講演でした。

## 平成 28 年度 会員交流会

12月1日（木）、名古屋観光ホテルにおいて、「平成28年度星城懇話会 会員交流会」を開催いたしました。

開会にあたって、浦野会長、石田名誉会長からそれぞれ挨拶があり、この一年の皆様方からのご支援に対する感謝の気持ちを述べられました。

そして、今年のイベントである「シンガーソングライター えみ」とバンドのメンバーが登場。えみさんのすばらしい歌声が会場全体に響き渡りました。

今年は、ボブ・ディランがノーベル文学賞を受賞したことから、えみさんにはボブ・ディランの代表曲「風に吹かれて」と「ミスター・タンブリン・マン」を特別にリクエスト。会場全体が大いに盛り上がりました。そんな心地よい雰囲気にもまれて、谷口理事による乾杯で、会員交流がスタートいたしました。



会員交流の時間では、名刺交換、異業種交流が盛んに行われ、おいしい料理とともに、皆さまの笑顔が飛び交っておりました。

その後、「企業PR」の時間となり、新規に法人会員になられた「清水建設株式会社」様、「株式会社フューチャーイン」様のPRから始まりました。そして、「近畿日本ツーリスト株式会社」様が登壇、負けじと「株式会社JTB 中部」様もPR。その後「NPO 法人えんとかく」様、「株式会社名鉄グランドホテル」様、「本田博信東海市議会議員」様、「株式会社ヤクルト東海」様が登壇され、今年も大盛況でした。



最後は、動画を活用した井上監事の発声にて、参加者一同「名古屋ナモ締め」で締めくくりました。約120名の会員様にご参加いただき、今年も大変好評な会となりました。お忙しい中、多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。



# 金メダリスト馬淵智子氏 講演

## 「金メダルへの道」～全国から集まった高校生に向けて～



12月24日（土）、星城高等学校石田記念館において、「金メダルへの道」と題して、北京オリンピック金メダリストの馬淵智子氏（星城大学学長特別補佐、ソフトボール部コーチ）の講演会が開催されました。

馬淵氏は、星城高等学校の卒業生で、北京オリンピックでは、4番打者として3本塁打を放つなど金メダル獲得に貢献しました。

講演は、12月24日から3日間にわたり、豊明市長杯全国招待高校女子ソフトボール大会が開催されたことに合わせて行われたもので、会場には全国24チームの選手・大会関係者約400名が集まりました。

馬淵氏は、「努力の成果は勝敗だけではない。努力することからもっと多くの成果、学びを得る。だからこそ、努力を惜しまず今できることを全力で尽くして欲しい」と熱いメッセ



【 熱心に聞き入る参加者たち 】



ージを力強く語り、参加者たちは、金メダリストから語られる内容に目を輝かせて聞き入っていました。

ソフトボールは、2020年東京オリンピックで正式種目として再び採用されることが決定しており、参加者たちの中から第2の金メダリストが誕生することを期待したいと思います。

【 金メダルをかける石田名誉会長 】

### 新 規 会 員 募 集

「星城懇話会」は、教育・文化・芸術分野において、地域社会と名古屋石田学園との相互交流を深めるとともに、地域社会の活性化に貢献することを目的とし、平成18年に発足いたしました。以来、地域社会とのコミュニケーション、会員の相互支援・相互協力を図る場として順調に活動を続けてまいりました。

昨今の経済状況の厳しい環境下におきましても、地域社会との連携により一層力を注ぎ、会員の皆様、会員企業の方々のご活躍及びご発展を目指して、少しでも皆様方に寄与できるように企画運営しております。ぜひ、ご興味がある方々にご紹介いただきますようよろしくお願いいたします。

【星城懇話会事務局】 TEL：(052) 689-6002/FAX：(052) 689-6003



# 金メダリスト馬淵智子氏 講演

## 「金メダルへの道」～全国から集まった高校生に向けて～



12月24日（土）、星城高等学校石田記念館において、「金メダルへの道」と題して、北京オリンピック金メダリストの馬淵智子氏（星城大学学長特別補佐、ソフトボール部コーチ）の講演会が開催されました。

馬淵氏は、星城高等学校の卒業生で、北京オリンピックでは、4番打者として3本塁打を放つなど金メダル獲得に貢献しました。

講演は、12月24日から3日間にわたり、豊明市長杯全国招待高校女子ソフトボール大会が開催されたことに合わせて行われたもので、会場には全国24チームの選手・大会関係者約400名が集まりました。

馬淵氏は、「努力の成果は勝敗だけではない。努力することからもっと多くの成果、学びを得る。だからこそ、努力を惜しまず今できることを全力で尽くして欲しい」と熱いメッセ



【 熱心に聞き入る参加者たち 】



ージを力強く語り、参加者たちは、金メダリストから語られる内容に目を輝かせて聞き入っていました。

ソフトボールは、2020年東京オリンピックで正式種目として再び採用されることが決定しており、参加者たちの中から第2の金メダリストが誕生することを期待したいと思います。

【 金メダルをかける石田名誉会長 】

### 新 規 会 員 募 集

「星城懇話会」は、教育・文化・芸術分野において、地域社会と名古屋石田学園との相互交流を深めるとともに、地域社会の活性化に貢献することを目的とし、平成18年に発足いたしました。以来、地域社会とのコミュニケーション、会員の相互支援・相互協力を図る場として順調に活動を続けてまいりました。

昨今の経済状況の厳しい環境下におきましても、地域社会との連携により一層力を注ぎ、会員の皆様、会員企業の方々のご活躍及びご発展を目指して、少しでも皆様方に寄与できるように企画運営しております。ぜひ、ご興味がある方々にご紹介いただきますようよろしくお願いいたします。

【星城懇話会事務局】 TEL：(052) 689-6002/FAX：(052) 689-6003